

## 令和元年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール研究実施報告（第3年次）（概要）

|             |  |      |   |      |  |      |   |
|-------------|--|------|---|------|--|------|---|
| 1 研究開発課題名   | 新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成に関する研究<br>～みやざきの発展を担う起業家スピリットとスキルを備えた人材育成を目指して～  |      |   |      |  |      |   |
| 2 研究の概要     | 新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成について様々な具体的取組を実践することにより、これからのみやざきの農業や関連産業の中核となる担い手を数多く輩出することを目的とした。特に、6次産業化など幅広い農業の形に柔軟に対応できる生産技術と経営に必要なスキルや郷土を愛し、地域社会の活力ある未来を志高く創り出していくために必要な資質と能力の育成を目指した。  |      |   |      |  |      |   |
| 3 令和元年度実施規模 | 全校生徒を対象に実施   |      |   |      |  |      |   |
| 4 研究内容      | <p>○研究計画（指定期間満了まで。5年指定校は5年次まで記載。）</p> <table border="1" data-bbox="183 896 1396 1982"> <tr> <td data-bbox="183 896 359 1019">第1年次</td> <td data-bbox="359 896 1396 1019">           1 模擬会社「高農」の設立と経営実践<br/>           2 高農ブランドの農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br/>           3 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 1019 359 1467">第2年次</td> <td data-bbox="359 1019 1396 1467">           1 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br/>           (ア)農場を中心とした安全・安心な農業のための学習<br/>           (イ)農畜産物の付加価値向上と新商品の開発<br/>           (ウ)農畜産物のブランディング<br/>           2 模擬会社「高農」の設立と農場会計を活用した経営実践<br/>           (ア)模擬会社「高農」の設立と経営実践<br/>           (イ)ICTを活用した原価計算管理<br/>           (ウ)本校販売所を活用した「マーケティング」に基づく販売実習<br/>           3 上級学校や地域との連携及び寮教育を通じたキャリア教育の実践<br/>           (ア)上級学校等との共同研究及び連携推進<br/>           (イ)デュアルシステムによる実践学習<br/>           (ウ)寮教育を通じたキャリア教育         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 1467 359 1982">第3年次</td> <td data-bbox="359 1467 1396 1982">           1 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br/>           (ア)農場における安全・安心な農業学習に関する取組<br/>           (イ)農畜産物の付加価値向上と新商品に関する取組<br/>           (ウ)農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」に関する取組<br/>           2 模擬会社「高農」の企画運営と農場会計を活用した経営実践<br/>           (ア)模擬会社「高農」の経営実践<br/>           (イ)ICTを活用した原価計算管理の実践<br/>           (ウ)本校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践<br/>           3 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実<br/>           (ア)関連上級学校や関係機関との共同研究及び連携推進<br/>           (イ)デュアルシステムの研究<br/>           (ウ)夢実現プログラムにおけるキャリア教育の実践         </td> </tr> </table> <p>○教育課程上の特例（該当ある場合のみ）・・・該当なし</p> <p>○令和元年度の教育課程の内容（令和元年度教育課程表を含めること）・・・別紙添付</p> | 第1年次 | 1 模擬会社「高農」の設立と経営実践<br>2 高農ブランドの農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br>3 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実 | 第2年次 | 1 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br>(ア)農場を中心とした安全・安心な農業のための学習<br>(イ)農畜産物の付加価値向上と新商品の開発<br>(ウ)農畜産物のブランディング<br>2 模擬会社「高農」の設立と農場会計を活用した経営実践<br>(ア)模擬会社「高農」の設立と経営実践<br>(イ)ICTを活用した原価計算管理<br>(ウ)本校販売所を活用した「マーケティング」に基づく販売実習<br>3 上級学校や地域との連携及び寮教育を通じたキャリア教育の実践<br>(ア)上級学校等との共同研究及び連携推進<br>(イ)デュアルシステムによる実践学習<br>(ウ)寮教育を通じたキャリア教育 | 第3年次 | 1 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br>(ア)農場における安全・安心な農業学習に関する取組<br>(イ)農畜産物の付加価値向上と新商品に関する取組<br>(ウ)農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」に関する取組<br>2 模擬会社「高農」の企画運営と農場会計を活用した経営実践<br>(ア)模擬会社「高農」の経営実践<br>(イ)ICTを活用した原価計算管理の実践<br>(ウ)本校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践<br>3 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実<br>(ア)関連上級学校や関係機関との共同研究及び連携推進<br>(イ)デュアルシステムの研究<br>(ウ)夢実現プログラムにおけるキャリア教育の実践 |
| 第1年次        | 1 模擬会社「高農」の設立と経営実践<br>2 高農ブランドの農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br>3 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実  |      |   |      |  |      |   |
| 第2年次        | 1 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br>(ア)農場を中心とした安全・安心な農業のための学習<br>(イ)農畜産物の付加価値向上と新商品の開発<br>(ウ)農畜産物のブランディング<br>2 模擬会社「高農」の設立と農場会計を活用した経営実践<br>(ア)模擬会社「高農」の設立と経営実践<br>(イ)ICTを活用した原価計算管理<br>(ウ)本校販売所を活用した「マーケティング」に基づく販売実習<br>3 上級学校や地域との連携及び寮教育を通じたキャリア教育の実践<br>(ア)上級学校等との共同研究及び連携推進<br>(イ)デュアルシステムによる実践学習<br>(ウ)寮教育を通じたキャリア教育   |      |   |      |  |      |   |
| 第3年次        | 1 「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発<br>(ア)農場における安全・安心な農業学習に関する取組<br>(イ)農畜産物の付加価値向上と新商品に関する取組<br>(ウ)農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」に関する取組<br>2 模擬会社「高農」の企画運営と農場会計を活用した経営実践<br>(ア)模擬会社「高農」の経営実践<br>(イ)ICTを活用した原価計算管理の実践<br>(ウ)本校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践<br>3 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実<br>(ア)関連上級学校や関係機関との共同研究及び連携推進<br>(イ)デュアルシステムの研究<br>(ウ)夢実現プログラムにおけるキャリア教育の実践  |      |   |      |  |      |   |

## ○具体的な研究事項・活動内容

### (1)「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発

#### ア 農場における安全・安心な農業学習に関する取組

1年生では、GAPやHACCPに関する基礎学習に取り組みさせることで、その仕組みを理解させ、安全・安心な農業生産に対する意欲・関心を高めることができた。2・3年生では、各農場で実践に取り組みせ、最終的に16品目のひなたGAP（県版GAP）認証を取得した。県版GAPの認証により、オリ・パラ事前合宿の食材提供が決まった。取組を通して農業生産技術を習得させ、GAPを正しく理解する力と安全・安心な農業を実践できる力が育成できた。



J・GAP指導員によるGAP基礎講座



G・GAP認証取得農場出荷施設視察研修



農場内の危害分析及びルール作り



ひなたGAP認証審査

#### イ 農畜産物の付加価値向上と新商品に関する取組

本校では約70品目の農畜産物を生産しており、それらを原料とした新たな商品の開発に取り組んだ。今回、備品として購入した食品乾燥機を使ったドライフルーツ作りやニンニク、ショウガ、ハーブ類を粉体化し加工品の原料にした商品作り、本校産生乳を原料としたナチュラルチーズの製造および製品化、本校産豚肉を原料としたソーセージの開発に取り組んだ。また、後述の模擬会社の役員が中心となって、生産から販売までを体験できる商品開発第一弾として「高農カレープロジェクト」にチャレンジした。これらの取組を通して、食品乾燥技術を使った農畜産物を幅広く活用できる力や学科や部門の枠を越え付加価値を高める商品開発スキルを育成できた。

商業科目「商品開発」では本校版ワークブックを使い、商業科の学びを農業教育に取り入れた、より柔軟性のある多様な農業教育に取り組めたことで、生産から加工、流通、消費にいたるまでの6次産業化や新商品の開発、販売の手法への学びを深め、商品開発スキルを向上させることができた。



農業教員と商業教員のTTによる授業



商品企画についてグループ会議



食品乾燥技術を活用した食品作り



農産物の付加価値向上

#### ウ 農畜産物のブランディング「高農デザインプロジェクト」に関する取組

高農デザインプロジェクトでは、これまで地域や県民から高い評価を受けている「高農ブランド」の農畜産物や加工品の更なる品質向上と新商品の開発に取り組み、商品力・ブランド力の向上を目指した。商品ブランド力アップを図るために、模擬会社役員を中心に地元デザイナーと協働でロゴデザインを作製し、商標登録出願をするなど知的財産権の学習にも取り組んだ。専門家からの学びを通して、ブランド力アップを図る思考力や実践力、表現力を身に付けた人材の育成につながった。



地元デザイナーによる商品開発学習会



新商品のコンセプトをデザイナーへプレゼン



弁理士による知的財産に関する出前講座

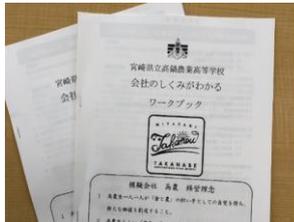
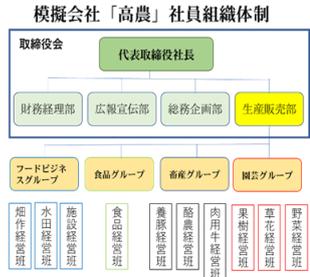


模擬会社役員による商標登録出願手続き

## (2) 模擬会社「高農」の企画運営と農場会計を活用した経営実践

### ア 模擬会社「高農」の経営実践

農業経営の授業では、本校版のワークブックを作成し、会社組織や定款、経営理念など企業経営に必要な基礎学習に取り組んだ。さらに、会社役員を中心に、学科連携による商品開発に取り組み、利益を得るための仕組みについて実践を通して学習した。その結果、経営的な視点とスキルを育成することができた。また、「特別会計」を「企業会計」に見立てた模擬会社「高農」の経営実践を通して、経営について基礎的スキルを習得させることができた。



経営理念など企業経営に必要な基礎学習



定例の班会議



グループ総会



県立農大模擬会社役員との意見交換会

### イ ICTを活用した原価計算管理の実践

これまで手書きやエクセルを使用して行っていた原価管理や農作業記録等、様々な情報をICTを活用し、電子データとして「見える化」を図り、コスト意識の醸成に取り組んだ。農場にICT環境を整え、農場運営のなかで実践することにより、「スマート農業」に対応できるICT活用能力を身に付けさせることができた。また、原価計算管理の実践を通して、農業生産におけるコスト意識が高まり、農業生産にICTを活用できる力を育成することができた。



ICT活用に関する宮崎大学出前講義



ICT導入事例視察研修



管理や収穫出荷登録を活用し原価管理を行う



学校ホームページに産地情報を公開

### ウ 高鍋農業高校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践

本校販売所でのマーケティング学習では、マーケットインの視点に立った商品開発を行うために販売所を活用した花市（菊市、ホオズキ市）や豚肉販売会の企画運営、タカノアールチーズフェスティバルの開催などPDC Aサイクルによる販売学習を実践できた。取組を通して、お客様が求めている商品や商品規格を知ることができたり、接客や陳列の仕方を仲間と考えたりする中で、コミュニケーション能力を高めたりできた。

地域でのマーケティング学習では、マンマルシェ高鍋や宮崎空港における試食販売会や商

品の提案を行うことで、お客様の声を取り入れた商品開発が実践できた。販売活動やマーケティング活動を通して、マーケットインの視点に立った商品開発のスキルの習得と企画力の育成を図ることができ、経営していくことの難しさと楽しさを体験させることができた。



菊市やホオズキ市を企画



マーケティング活動



ソーセージの試食

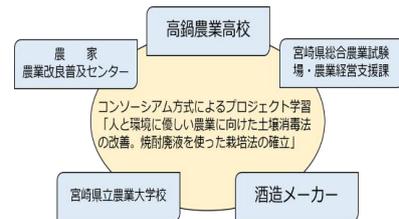


花ギフトを提案

### (3) 関連上級学校や地域との連携や寮教育を通じたキャリア教育の充実

#### ア コンソーシアム方式によるプロジェクト学習の研究

関連上級学校や総合農業試験場、民間企業とのコンソーシアム方式によるプロジェクト研究に取り組むことで、地域に根ざした専門学習の深化を図った。園芸科学科と畜産科学科では、人と環境に優しい持続可能な農業生産を目指し、県立農業大学校や総合農業試験場、酒造メーカー等と「焼酎廃液」を使った栽培や飼育に関する共同研究に取り組んだ。専門性の高い調査・研究を通して、持続可能な農業についての理解が深まり、実践的な課題解決能力の向上につながった。



県立農業大学校との共同実習



南九州大学での肉質分析



九州大学での研究成果発表



連携企業先での豚肉食味検査

#### イ デュアルシステムの研究

農業の6次産業化へ対応できる人材の育成を目的とし、高鍋町内の企業等において現場研修を実施し、生産、加工、流通・販売、利用・消費に関する知識・技術の習得に取り組んだ。校内におけるGAPやHACCPに関する学びを職場での衛生管理や安全管理で経験することができ、専門学習への理解が深まった。一方で、現場研修で得た知識や技術を学校での製造工程や原材料の管理等に活かすことができるなど、現場研修を通して農業の6次産業に関する知識・技術の深化を図ることができた。



事前打合せ



現場実習の様子



現場実習の様子



実践報告会

#### ウ 夢実現プログラムにおけるキャリア教育の実践

##### ①寮教育の取組～地域創生提言プロジェクト～

寮を活用した多様な専門学習とキャリア教育を展開し、社会的・職業的自立に必要な能力と態度の育成を目指した。寮生のなかには、人口減少や担い手不足、産業の衰退といった大きな課題を抱える中山間地域の出身者も多いため、各自治体が直面する問題や課題について学

習したり、地域資源の活用や魅力発見につながる「むら創生学」に関する講演会や視察研修に取り組んだりした。また、地域創生に関する提言を行い、関係町村と連携し、地域資源を使った商品開発などに挑戦した。取組を通して郷土愛の醸成を図り、生徒自らが企画提案するなど企画力を育成できた。将来、出身地域を担い、みやぎきの地方創生に貢献できる人材を育成できた。

## ② グローカル教育プログラムの開発

グローバルな視点を持ち、ローカルに地域経済や社会に貢献できるグローバル人材の育成を目指して、トビタテ！留学 JAPAN 参加・報告会、農畜産物の海外輸出に関する事例講話、本校農畜産物の海外輸出に向けた取組推進を図った。

トビタテ！留学 JAPAN では、オーストラリアやドイツへの留学を通して、日本と海外の農業経営の考え方の違いや仕組みを学んだ。地元企業で海外展開をしている社長による講演や宮崎牛の海外輸出学習会等を通して、グローバルな視点を持つことの大切さを共有することができた。また、学校産和牛肉を高鍋町のふるさと納税返礼品として全国に発信、さらに香港への海外輸出も実現でき、グローバルな視点で農業の在り方を考えようとする生徒を増やすことができた。



農産物輸出に関する  
地元企業社長の講話



農産物輸出に取り組む  
企業での視察研修



宮崎牛の海外輸出学習



トビタテ！留学 JAPAN  
報告会

## 5 研究の成果と課題

### (1) 成果

- ①各農場における GAP、HACCP 学習を通して、安全・安心で持続可能な農業生産への理解が深まり、16品目でオリ・パラ食材として提供可能な県版「ひなたGAP」認証の取得につながった。GAP及びHACCP教育の学習プログラムを構築できた。
- ②地元デザイナーやシェフと協働で生産物の付加価値を高めるブランディングに取り組んだり、商業的な手法を取り入れた新商品の開発手法について実践的に学んだりできる商業科目「商品開発」の教材開発及びプログラムを構築できた。
- ③模擬会社「高農」の経営実践では企業経営の仕組みを学ぶことができたり、企業経営の難しさと楽しさを体験させたりできた。模擬会社「高農」の企画運営を通して、農業経営感覚や農業経営を実践する力を育むプログラムを構築できた。
- ④関連上級学校や地域と連携したコンソーシアム方式のプロジェクト学習では、地域農業の課題解決に向けた実践研究に取り組み、専門性と課題解決能力を高めることができ、コンソーシアム方式によるプロジェクト学習プログラムを構築できた。
- ⑤寮のキャリア教育では出身地域の魅力や地域資源を再発見でき、郷土愛を高めた。地域創生に向けた提言や活動をでは自信と誇りを高めることができ、寮教育を通じたキャリア教育プログラムを構築できた。

### ● S P H 運営指導委員及び関係機関の方々からの評価

- ・企業会計に見立てた模擬会社「高農」の取組は、役員だけでなく全校生徒への知的好奇心をゆさぶる学習になっている。
- ・研究そのものの成果や生徒の意欲の高まりはよく出ているので、入学してくる生徒数が増え、さらに活気づいてくるものと期待している。

# 1 取組別ルーブリック評価

目標値2.8以上

※評価基準 レベル1 できない/取り組みない など レベル2 あまりできない/あまり取り組みない など レベル3 できる/取り組める など レベル4 具体的にできる/積極的に取り組める など

| 目指す生徒像   | 研究目的             | テーマ                                     | 研究内容                      | 取組内容                   | 対象生徒   | 課題解決力(課題を解決できる力) |     | 創造力(新しい価値を生み出す力) |     |     |     | 豊かな人間性 |     |         |     |
|--|------------------|---|---------------------------|------------------------|--------|------------------|-----|------------------|-----|-----|-----|--------|-----|---------|-----|
|  |                  |   |                           |                        |        | 技術               |     | 思考力              |     | 判断力 |     | 表現力    |     | 学びに向かう力 |     |
|  |                  |   |                           |                        |        | 5月               | 12月 | 5月               | 12月 | 5月  | 12月 | 5月     | 12月 | 5月      | 12月 |
| ○6次産業化など幅広い農業の形に柔軟に対応できる農業技術と経営に必要な資質や能力を身に付けた人材 | 持続可能な農業を実現する力の育成 | 【テーマ1】<br>「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品の開発 | (ア)農場における安全・安心な農業学習に関する取組 | GAP・HACCP基礎教育のプログラムの開発 | H科1年生  | 2.2              | 2.9 | 2.2              | 2.7 | 2.3 | 2.6 | 2.1    | 2.7 | 2.8     | 3.0 |
|  |                  |   |                           |                        | Z科1年生  | 2.7              | 3.1 | 2.7              | 3.1 | 2.5 | 3.0 | 2.6    | 3.2 | 3.1     | 3.3 |
|  |                  |   |                           |                        | C科1年生  | 2.7              | 3.2 | 2.7              | 3.0 | 2.4 | 2.8 | 2.3    | 2.7 | 2.8     | 3.0 |
|  |                  |   |                           |                        | F科1年生  | 2.4              | 3.2 | 2.6              | 2.9 | 2.5 | 2.6 | 2.1    | 2.4 | 2.8     | 3.1 |
|  |                  |   |                           | GAP教育の実践               | H科2年生  | 2.6              | 2.7 | 2.7              | 2.9 | 2.7 | 2.9 | 2.4    | 2.8 | 2.9     | 3.0 |
|  |                  |   |                           |                        | H科3年生  | 2.8              | 3.4 | 2.7              | 3.2 | 2.8 | 3.4 | 2.6    | 3.1 | 3.0     | 3.5 |
|  |                  |   |                           |                        | F科2年生  | 2.8              | 3.1 | 2.9              | 3.0 | 2.8 | 3.2 | 2.5    | 2.7 | 3.0     | 3.0 |
|  |                  |   |                           |                        | F科3年生  | 2.5              | 2.8 | 3.0              | 3.0 | 2.8 | 3.0 | 2.4    | 2.8 | 3.0     | 3.0 |
|  |                  |   |                           | HACCP教育の実践             | Z科2年生  | 2.6              | 2.8 | 2.6              | 2.7 | 2.6 | 2.7 | 2.3    | 2.4 | 3.0     | 3.3 |
|  |                  |   |                           |                        | Z科3年生  | 2.6              | 2.9 | 2.9              | 3.1 | 2.9 | 3.1 | 2.7    | 2.8 | 3.1     | 3.2 |
|  |                  |   |                           |                        | C科1年生  | 2.7              | 3.2 | 2.5              | 3.1 | 2.6 | 2.8 | 2.7    | 2.7 | 2.3     | 3.1 |
|  |                  |   |                           |                        | C科2年生  | 2.1              | 3.2 | 1.9              | 3.0 | 1.8 | 3.1 | 2.0    | 3.0 | 1.4     | 3.0 |
|  | 農業経営を実践する力の育成    | 【テーマ2】<br>模擬会社「高農」の企画運営と農場会計を活用した経営実践   | (イ)ICTを活用した原価計算管理の実践      | 商業科目「商品開発」の実践          | H科3年生  | 2.6              | 2.9 | 2.4              | 2.7 | 2.5 | 3.0 | 2.5    | 2.9 | 2.8     | 3.1 |
|  |                  |   |                           |                        | Z科3年生  | 2.4              | 2.8 | 2.3              | 2.7 | 2.3 | 2.6 | 2.3    | 2.8 | 2.4     | 2.8 |
|  |                  |   |                           |                        | Z科2年生  | 2.4              | 2.7 | 2.4              | 2.6 | 2.5 | 2.8 | 2.5    | 2.7 | 2.7     | 3.1 |
|  |                  |   |                           |                        | F科2年生  | 2.4              | 2.7 | 2.3              | 2.3 | 2.4 | 2.7 | 2.2    | 2.3 | 2.8     | 3.0 |
|  |                  |   |                           | 食品乾燥技術を活用した新商品の開発      | F科3年生  | 1.6              | 2.5 | 2.3              | 2.8 | 2.3 | 2.8 | 2.3    | 2.9 | 2.5     | 2.8 |
|  |                  |   |                           |                        | C科2年生  | 2.4              | 3.2 | 2.4              | 2.9 | 2.4 | 3.1 | 2.1    | 2.8 | 2.8     | 3.4 |
|  |                  |   |                           |                        | F科3年生  | 2.2              | 2.8 | 2.5              | 2.7 | 2.4 | 2.8 | 2.4    | 2.7 | 2.6     | 2.7 |
|  |                  |   |                           |                        | 模擬会社役員 | 2.4              | 3.5 | 3.4              | 3.5 | 2.7 | 3.1 | 2.7    | 3.1 | 2.7     | 3.0 |
|  |                  |   |                           | 本校の農畜産物を使った新商品の開発      | H科1年生  | 2.2              | 2.6 | 2.2              | 2.5 | 2.0 | 2.6 | 2.1    | 2.5 | 2.3     | 2.9 |
|  |                  |   |                           |                        | Z科3年生  | 2.3              | 2.5 | 2.3              | 2.3 | 2.4 | 2.3 | 2.6    | 2.5 | 2.6     | 2.6 |
|  |                  |   |                           |                        | F科3年生  | 2.0              | 2.9 | 2.1              | 2.6 | 2.1 | 2.5 | 2.0    | 2.6 | 2.2     | 2.7 |
|  |                  |   |                           |                        | H科3年生  | 1.7              | 2.8 | 1.8              | 2.8 | 1.8 | 2.8 | 1.6    | 2.8 | 1.8     | 2.8 |
| (ウ)高鍋農業高校販売所を活用した流通学習の実践、「マーケティング」の実践            | F科2年生            | 2.4                                     | 2.8                       | 2.5                    | 2.9    | 2.6              | 2.9 | 2.4              | 2.5 | 2.7 | 3.1 |        |     |         |     |
|  | F科3年生            | 2.5                                     | 3.0                       | 2.6                    | 2.9    | 2.4              | 2.9 | 2.4              | 2.9 | 2.6 | 3.0 |        |     |         |     |
|  | H科3年生            | 3.0                                     | 3.7                       | 2.9                    | 3.8    | 3.2              | 3.6 | 3.0              | 3.4 | 3.2 | 3.7 |        |     |         |     |
|  | Z科3年生            | 2.6                                     | 3.2                       | 2.4                    | 3.2    | 2.6              | 2.8 | 2.4              | 3.0 | 2.6 | 3.2 |        |     |         |     |
| (イ)デュアルシステムの継続研究                                 | F科2年生            | 2.1                                     | 3.0                       | 2.8                    | 3.4    | 2.7              | 3.2 | 2.5              | 3.3 | 2.5 | 3.2 |        |     |         |     |
|  | 全寮生              | 2.6                                     | 3.0                       | 2.7                    | 3.0    | 2.8              | 3.2 | 2.8              | 3.1 | 3.0 | 3.2 |        |     |         |     |
|  | 全寮生              | 2.6                                     | 3.0                       | 2.7                    | 3.0    | 2.8              | 3.2 | 2.8              | 3.1 | 3.0 | 3.2 |        |     |         |     |
|  | 全校生              | 2.4                                     | 2.6                       | 2.5                    | 2.7    | 2.4              | 2.7 | 2.2              | 2.4 | 2.5 | 2.8 |        |     |         |     |

## (2) 実施上の問題点と今後の課題

全学科の生徒を対象に取組別に全職員で組織を編成して取り組んだ結果、多くの取組で目標値2.8を超えた。特に、GAP及びHACCP教育の実践やコンソーシアム方式によるプロジェクト学習では高い数値となり、専門学習への興味・関心・学ぶ意欲が高まるなど、生徒に大きな変容が見られた。また、日頃の学習の成果としてコンクールや競技会等、各種表彰を数多く受けたり、専門性を生かした進路を選択する生徒が増加したりしたことから、本事業において大きな効果があったと評価できる。取組を進める際、生徒の自己評価を元につまずきをフォローするための指導を行うと同時に、職員が指導方法の改善に取り組んだことが、より効果的なプログラムの構築につながったと考える。一方で、会社経営に関する基礎学習やグローバル学習では、生徒目標値まで達成しなかった。原因は、取組が一部の生徒に限られ、事業効果が限定的であったと推察されるため、今後は、他の生徒の関わり方や共有の在り方について検討を進めていきたい。

ふるさとみやぎを愛し、地域を支える「食と農」の担い手づくりに向けて、GAP及びHACCPの取組推進及び販売チャンネルの拡大を図り、模擬会社「高農」では生徒が主体的に関わることができる農場会計の運用や学科間連携による商業ベースでの商品開発を推進する。また、コンソーシアム方式によるプロジェクト学習では研究成果の実証と普及を図る。研究成果を宮崎県農業教育研究会等、本県全体で共有しSPH教育プログラムを育て進化させていきたい。